

（設置）

- 第１条 「千走川水系外流域治水協議会」（以下「協議会」）を設置する。
なお、対象水系は別表３による。

（目的）

- 第２条 本協議会は、令和元年東日本台風をはじめとした近年の激甚な水害や、気候変動による水害の激甚化・頻発化に備え、各流域において、あらゆる関係者が協働して流域全体で水害を軽減させる治水対策、「流域治水」を計画的に推進するための協議・情報共有を行うことを目的とする。

（協議会の構成）

- 第３条 協議会は、別表１の職にあたる者をもって構成する。また、別表２にある機関をオブザーバーに置く。
- ２ 協議会は、各構成員の命により、各機関の代理による対応を認める。
 - ３ 協議会を進めていくにあたり、各流域内関係機関等についても、協議会の同意を得て、構成員として追加できるものとする。
 - ４ 協議会に会長置き、会長には後志総合振興局長をあてる。
 - ５ 後志総合振興局副局長（建設管理部担当）が会長を代行することができるものとする。
 - ６ 会長は協議会の同意を得た上で、必要に応じて別表１の職にある者以外の者（学識経験者等）を参加させることができる。

（協議会の実施事項）

- 第４条 協議会は、次の各号に上げる事項を実施する。
- １ 流域で行う流域治水の全体像を共有・検討。
 - ２ 河川に関する対策、流域に関する対策、避難・水防等に関する対策を含む、「流域治水プロジェクト」の策定と公表。
 - ３ 「流域治水プロジェクト」に基づく対策の実施状況のフォローアップ。
 - ４ その他、流域治水に関して必要な事項。

（幹事会）

- 第４条の２ 協議会に幹事会を置く。
- １ 幹事会は、協議会の運営に必要な情報交換、流域治水に関する検討などを行い、その結果を協議会へ報告する。
 - ２ 幹事会は、別表１の職にある者をもって構成する。
 - ３ 幹事会に幹事長を置き、幹事長は後志総合振興局小樽建設管理部事業室治水課長をあてる。
 - ４ 幹事長は、幹事会の事務を掌理する。
 - ５ 幹事会は、各幹事の命により、各機関の代理による対応を認める。
 - ６ 幹事長は協議会の同意を得た上で、必要に応じて別表１の職にある者以外の者（学識経験者等）を参加させることができる。

（協議会資料等の公表）

- 第５条 協議会に提出された資料等については速やかに公表するものとする。ただし、個人情報等で公表することが適切でない資料等については、協議会に諮り、非公表にすることができる。
- ２ 協議会の議事については、事務局が議事概要を作成し、対応した構成員の確認を得た後、公表するものとする。

(事務局)

第6条 協議会の事務局は、後志総合振興局 小樽建設管理部 事業室 治水課に置く。

(雑則)

第7条 この規約に定めるもののほか、必要な事項は協議会で決定するものとする。

(附則)

本規約は、令和5年3月31日から施行する。

別表 1 千走川水系外流域治水協議会 構成員・幹事

[illegible]

別表 2 千走川水系外流域治水協議会 オブザーバー

機 関 名
小樽開発建設部 工務課

別表 3 千走川水系外流域治水協議会 対象水系

対象水系名	流域内市町村名	備 考
1. 千走川 2. 歌島川 3. 折川 4. 大平川 5. 床丹川 6. ホンベツ川 7. 泊川 8. 新甫川	島牧村	